

釧路町

2050ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動は、世界中の人々や生態系に影響を与える深刻な問題となっており、世界各国における地球温暖化抑制に関する意識も急速に高まりつつあります。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求すること」とされ、2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）での特別報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

我が国では、2020年10月26日に当時の菅総理大臣が所信表明において2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

このような中、釧路町においても、平成30年度に釧路町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、公共施設等における温室効果ガス排出量の削減に努めており、令和3年第1回釧路町議会定例会において、「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指すことを執行方針として述べ、取組を開始してまいりました。

豊かな自然あふれる釧路町を未来につなぐためには町民や地域、事業者の皆さまと一体となって連携・協働し、脱炭素社会の実現に向けた更なる取組が不可欠となっています。

釧路町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和3年（2021年）12月10日

釧路町長 小松 茂